

あしきた町議会だより



うたせ

第21号

平成22年6月10日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966) 82-2511・FAX(0966) 82-2894



「仲間と共に全力出し切れ 燃えろ我らの闘争心」

(5月29日 湯浦中運動会)

- 初議会（議員紹介）… P2～3
- 3月定例会・町長施政方針（要約）… P4～5
- 総務常任委員長報告… P6
- 建設経済常任委員長報告… P7
- 文教厚生常任委員長報告… P8
- 一般質問… P9～11
- 議会のうごき・編集後記… P12



初議会

4月7日に改選後初の臨時議会が開催され、議長に藤井公明氏、副議長に寺本修一氏を選出した。

また、各常任委員、議会運営委員、特別委員会委員、議会選出監査委員を選任するとともに、平成21年度一般会計補正予算をはじめ、芦北町税条例並びに国民健康保険税条例の一部改正についての専決処分を全会一致で承認した。

議長に 藤井公明氏 副議長に寺本修一氏を選出 各委員会の正副委員長も決まる

議長



ふじい ひろあき
藤井 公明
①2回 ②花岡

副議長



てらもと しゅういち
寺本 修一
①2回 ②田浦町
③総務
議会運営

議長就任あいさつ

4月7日に開催された臨時議会において、議員各位の選出で議長を拝命いたしましたので、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

本町が合併して、2回目の選挙でありましたが、昨年の議員定数条例の制定で22人から16人に定数削減し、今回16人の新しい議員でスタートしました。

昨年を振り返りますと、国においては、景気対策、雇用

対策も好転の兆しは見えにくく、国政選挙で自公連立政権から、民主・社民・国民新党

の連立政権へ代わり、更に、6月2日には、鳩山首相が退

陣する異常事態となり、益々先行き不透明で推移してお

り、地方自治体にとっては、厳しい財政状況に加え、少子

高齢化による人口減少が進めば、次世代に一層の負担がか

かることは明らかであり、行政改革を今後とも強力に推進

していかねばなりません。議会は、民意の反映が失われることがないよう決意も新たに地方自治の振興・発展に

向け行政、住民とともに鋭意努力し、町の更なる飛躍を目指して最善を尽くす所存であります。

今後とも、町民の皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。就任の挨拶と致します。

ます。



みずぐち のりゆき
水口 宣之
① 2回 ② 大岩
③ 建設経済副委員長



おかべ えみこ
岡部恵美子
① 2回 ② 湯浦
③ 文教厚生副委員長

議員を紹介します

- ① 当選回数 ② 地区名
③ 所属委員会



もとやま しゅうじ
元山 秀志
① 2回 ② 小田浦
③ 総務委員長
議会運営 広報特別



みやお ひでゆき
宮尾 秀行
① 2回 ② 田浦
③ 議会運営委員長
建設経済 広報特別



ひらまつ よういち
平松 洋一
① 2回 ② 小田浦
③ 広報特別副委員長
建設経済



かわしり なるみ
川尻 成美
① 2回 ② 女島
③ 総務副委員長
広報特別



てらもと じゅんいち
寺本 順一
① 2回 ② 田浦町
③ 文教厚生



しらさか やすひろ
白坂 康浩
① 2回 ② 花岡
③ 文教厚生委員長
議会運営



くさの やすみち
草野 安道
① 2回 ② 大野
③ 建設経済委員長
議会運営



まえだ ていいち
前田 徹一
① 2回 ② 米田
③ 議会運営副委員長
建設経済



さかもと のぼる
坂本 登
① 1回 ② 花岡
③ 総務



はやしだ ようこう
林田 燿宏
① 1回 ② 湯浦
③ 文教厚生
広報特別



みやうち みちのり
宮内 道則
① 2回 ② 白岩
③ 広報特別委員長
文教厚生



こむら いつお
古村 逸男
① 2回 ② 芦北
③ 総務
町監査委員

3月定例会



3月定例会

3月定例会は、3月1日に召集され、12日までの12日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成22年度当初予算をはじめ、平成21年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、芦北町まちづくり振興基金条例の制定ならびに、条例の一部改正など22議案で、平成22年度一般会計予算を除く議案については、全会一致で原案とおり可決した。また、陳情2件と承認1件を採択し、人権擁護委員の推薦についても決定した。

一般質問には3議員が登壇し、町執行部の考えを問いただした。

町長の施政方針（要約）

◎社会情勢と芦北町の状況
平成22年度予算を右肩上がりの経済成長を前提とした従来型の資源配分や行政手法を転換し、経済社会の構造や重視すべき価値を変え、国民生活に安心と活力をもたらす第一歩の予算としております。

ついて効率的、重点的に実施してまいります。

地方財政計画は、地方税の大幅な歳入減が見込まれる中で、歳入面では、地方交付税や臨時財政対策債の増額確保、歳出面では地域活性化雇用等臨時特例費の創設等により、その規模を維持する内容となっており、一定の評価はできませんが、本町の進める補助事業についても予算の削減が行われており、新政権の動向は今後も注視していく必要があります。本町においては、これまでの行政改革の取り組みを継続し、健全財政を維持しながら、町の基本理念に従い必要な事業に

◎まちづくりの基本方針

芦北町のまちづくりは、芦北町総合計画において、「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべては21世紀を担う子どもたちのために」をテーマとした施策を展開しております。なお、平成22年度は総合計画後期基本計画の初年度となっております。後期5か年間の計画が着実に実施できるよう、計画の適正な管理及び進捗状況の把握に努めます。

◎基本的な取り組みについて

平成22年度一般会計予算のうち、子供手当の創設や障害者福祉費の増加などにより扶助費が大幅に伸びるなかで、人件費や公債費等の経常的経費は減額してお

ります。

普通建設事業費については、地域活性化センター整備事業や合併前から継続しておりました海浦漁港の整備事業が終了したことから減額となっておりますが、先ほど補正予算でご議決いただきました事業の前倒し分等を含めますと必要額を確保しております。

また、持続可能な財政運営を行っていくため、新たな基金を積み立てる予算も計上しております。

◎結び

今後も、景気や国政の動向が不透明な中で、いかに質の高いサービスを提供できるかを主眼に置き、行政運営を行ってまいります。そのために本町の将来を見据え、町民ニーズを的確に捉え、町民・議会とのコミュニケーションを大切にしまして施策を推進してまいります。

平成22年度 当初予算を原案可決

157億4,599万7千円

(以下の数字については1万円未満を削除)

各会計の予算額

一般会計	94億5,500万円
国民健康保険	32億6,200万円
老人保健	30万円
介護保険	18億7,930万円
簡易水道	1億1,380万円
農業集落排水	2億1,170万円
生活排水処理	6,070万円
町有温泉	1億590万円
奨学資金貸付	2,330万円
後期高齢者医療	2億6,870万円
公営企業(水道)	3億6,529万円
合計	157億4,599万円

一般会計の予算規模は
前年対比0.1%増

平成21年度 補正予算(一般会計)

5億3,358万9千円を追加

(以下の数字については1万円未満を削除)

会計名	補正額	会計総額
一般会計	5億3,358万円増	117億4,783万円
国民健康保険	2,655万円増	33億7,514万円
農業集落排水	6,999万円減	2億2,870万円
後期高齢者	33万円増	2億4,393万円

◎補正の主なもの(一般会計)

- 強い農業づくり(ライスセンター)費補助金 9,510万円
- 強い農業づくり(選果機)費補助金 3億5,750万円
- 道路新設改良費 6,559万円

【補正予算の概要】
歳入では、国の補正による地域活性化・きめ細かな臨時交付金及び強い農業づくり交付金の増額と、国県支出金等を伴う各種事業の実績見込みによる減額。
歳出は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用した町道の局部改良や橋りょうの維持補修、小中学校の修繕の増額、強い農業づくり交付金の増額に伴うライスセンター整備・選果機整備補助金の増額となっている。

消防団員OBによる機能別団員制度導入

総務常任委員長報告



芦北町消防点検

本委員会

に付託され
ました案件
は、予算関
係1議案、
条例関係2
議案でござ
います。ま
ず、条例の
審査から申
し上げま
す。

議案第16
号「芦北町
まちづくり
振興基金条
例の制定に
ついて」の
審査を申し
上げます。
この条例
は、合併新
町のまちづ
くり振興に
資するソフ
ト事業の財
源とする基
金を造成す
るために条

例を制定するものであると説
明がありました。

議案第16号については、全
会一致で原案のとおり可決す
ることに決しました。

議案第17号「芦北町大関水
販売運営基金条例の制定につ
いて」の審査を申し上げま
す。

この条例は大関水販売の事
務負担の軽減や付加価値の向
上に資することを目的とし
て、販売、運営の基金化に係
る条例を制定するものである
と説明がありました。議案17
号につきましても、全会一致
で原案のとおり可決すること
に決しました。

議案第5号「平成22年度芦
北町一般会計予算」について
申し上げます。平成22年度の
一般会計予算総額は、前年度
比0.1%増の94億5500万円
となっており、地方交付税
は、地方財政計画の中で、既
定の加算とは別に約1兆円増
額されたことにより、2.3%増

の44億円が見込まれておりま
す。以下、審査過程において
論議された主なものについて
申し上げます。

【議会事務局】

議員定数が22名から16名に
減少することから、対前年比
2233万8千円の減額予算
になるとの説明がありました。

【総務課】

行政組織の見直しと定員適
正化に努め、簡素で効率的な
行政組織体制の整備や人事評
価制度の効率的な運用と適切
な人事管理を図るため、引き
続き、評価者及び職員研修の
実施が計画されている。

また、消防費の消防団で
は、常備消防の支援のほか、
新たに消防団員OBによる機
能別団員制度導入がスタート
する。これは、サラリーマン
団員の増加等による昼間の消
防力の低下を補うために導入
されるもので、65歳以下の消
防団経験者で居住地の消防団
に属し、管轄区域内で発生し
た火災のみ出動し、火災以外
は基本的には出動しないとの
ことである。予算総額は11億
3833万4千円。

【企画財政課】

海外自治体職員を研修生と
して、招聘する自治体職員協
力交流事業やふるさとづくり

基金運用事業の実施が昨年同
様に計画され新たな事業とし
て、スクールバス実証運行、
結婚支援事業並びに大関水商
品の製造、販売等に要する経
費が計上され、また、15組
合分のテレビの共聴施設デジ
タル化事業が22年度で終了す
る。予算総額は14億3485
万1千円。

【田浦基幹支所】

地域活性化センターの増設
分にかかる、光熱水費の電気
料の増額と庁舎屋根の防水修
繕費、空調設備の取替修繕費
等が新たに計上し、予算総額
1751万7千円、本庁との
連絡を密にし、町民の利便性
に配慮した業務を行う。

【税務収納課】

企業業績の悪化による所得
の減少、リストラ等による失
業者の増加による所得の減少
が予想され、平成22年度の町
税総額は14億6716万7千
円で対前年8728万8千円
の減（個人町民税2750万
4千円の減、法人町民税57
59万3千円の減、固定資産
税262万9千円の増、町た
ばこ税591万3千円の減）
となっている。予算総額は1
億2185万1千円。

以上、質疑終了後は討論も
なく、全会一致で原案どおり
可決することに決しました。

花岡浄水場で集中監視設備更新

建設経済常任委員長報告

建設経済常任委員会に付託されました予算関係6議案、陳情1件について、本委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

はじめに、議案第5号「平成22年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

【建設課】

湯南団地外壁屋根改修工事について、今年度以降の計画はなくなっているかという質疑に対し、4棟ずつ改修して、平成28年度完了予定との答弁でありました。

【上下水道課】

飲料水供給施設事業費補助金について、今回の交付地区と事業内容の質疑に対し、高岡南及び上白木地区に交付し、両地区とも管路改修との答弁でありました。

【商工観光課】

温泉掘削適地調査業務の目的はとの質疑に対し、旧ブルーマリンあしきたの再利用に関し、温泉は不可欠であるとの認識及び海浜総合公園への利活用を視野に入れ、調査を行うとの答弁でありました。

【農業委員会】

特定農地貸付け事業において、今年度新たに八幡地区で10区画貸付けを行う予定であるとの説明がありました。

【農林水産課】

平成22年度からの中山間地域等直接支払事業に関しこれまでの制度との違いはとの質疑に対し、基本的に変更はないが、高齢者の農地を守ることや面積基準の緩和がなされたとの答弁でありました。

また、船揚げ施設利用促進事業補助金の事業概要はとの質疑に対し、漁協管理の船揚げ施設で船揚げ1回につき5千円の補助を行うとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第9号「平成22年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」について申し上げます。

今年度は花岡浄水場で集中監視設備更新工事を行うため、簡易水道事業分の負担金を水道会計に支出するとの説明がありました。

説明後は質疑討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第10号「平成22年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」について申し上げます。

花岡東地区の大幅な減額については、前年度計上の高速道路建設による県道切り回し工事関係の減によるものとの説明がありました。

説明後は質疑討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第11号「平成22年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申し上げます。

維持管理費の増額については、湯南団地の基数増が主な原因であり、主な質疑として、維持管理委託については毎年入札を行っているのかと

の質疑に対し、毎年実施しているとの答弁でありました。質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第12号「平成22年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申し上げます。

計石温泉センターの修繕料の内容はとの質疑に対し、脱衣室の天井改修と冷暖房機設置を予定しているとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。



集中監視設備更新する花岡浄水場

議案第15号「平成22年度芦北町水道事業会計予算」について申し上げます。

集中監視設備を更新することとどのような利便性があるのかとの質疑に対し、浄水場や各施設のほか田浦地区の5箇所の簡易水道施設を一括監視することで、施設管理の効率性が高まるとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

陳情第1号「道川内乙千屋川河川道路（生活道路）の町道編入について」を申し上げます。

本件は、道川内西行政区長、立丸一廣氏ほか5名より提出されたものですが、生活道路から町道への編入を求めるものです。

現地調査後の審査で、委員から町道認定しなくても生活に支障はないし、また、用地、境界等解決すべき問題があるのではないか等の意見があり、慎重審議する必要があると判断し、全会一致で継続審査すべきものと決しました。

以上で、付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。

老人ホーム民営化に向けて検討

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、御報告申し上げます。

付託されました案件は、予算関係6議案でございます。

まず、議案第5号、平成22年度芦北町一般会計予算について、審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

【福祉課】

子ども手当での政策により、1億5千400万円以上の増額予算となっておりあります。現在、老人ホーム民営化についての進捗状況の質疑に対し、昨年の10月に検討委員会を設置して、会議を開催しているとの答弁でありました。

【住民生活課】

黒崎霊苑の使用料についての申し込み状況と相談件数等の質疑に対し、今年度は3基予算計上し、残が57基という答弁を受け、1区画が30万円ということに対し、価格の相談はないかとの質疑に対し、受けていないとの答弁でした。

また、海岸の漂着物の予算は、県の基金を取り崩して21年度から3年間補助してもら

うもので、要望は、300万円程度しているとの答弁がありました。

【教育課】

学校ICT支援員委託料の質疑に対し、インストラクター12名、1組で各学校を巡回して、指導する予算であるとの答弁でした。学校統廃合については、計石小は、24年度統合に向けて説明を始めるということでした。

施政方針と予算大綱説明の中で、平成24年度からの武道の必須化の質疑に対し、柔道、剣道、相撲については、条件なしで取り組めるが、ほかの種目は、要件をクリアすることが必要であるとの答弁でした。

【生涯学習課】

ジョギングフェスタについては、近年参加者の極端な減少に伴い、今年度は廃止した。今後は、新しいイベントを計画したいとの答弁でありました。また、温泉プールの利用状況について、常時、小学生と一般が利用して、特に夜間は、満杯であるということ。今後は、さらに、新しい計画をしたいとの答弁であり

ました。

また、学校支援地域本部事業について、平成22年度で終わるのかとの質疑に対し、モデル事業としては、3ヶ年で終了する。しかし、教育事務所と協議して継続できるように努力したいという答弁でした。

以上、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第6号「平成22年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑は、直営診療施設勘定において、報償費の臨時医師謝金が大幅に減額しているがとの質疑に対し、今年度は火曜、木曜、土曜の3日間の診療となることで、減となったという答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第7号「平成22年度芦北町老人保健事業特別会計予算」について申し上げます。

特別会計は、平成22年度で終了となりますが、予算については、前年度の支給状況により前年度医療給付費の3パーセントと推計し、30万円が計上されております。

以上、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第8号「平成22年度芦北町介護保険事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、21年度より7860万円の増となります。増額の理由として、地域密着型介護サービス給付費に係るもので、グループホーム等の設置に伴うものであります。

保険給付費の伸びについては、第4期介護保険事業計画を作成する中で、3年間を見越して設定しているという答弁でありました。

以上、討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第13号「平成22年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、対前年度比150万円の減となっており、大学生の継続貸付け人数の減

によるものであります。

以上、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第14号「平成22年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、2520万円の増額予算となっておりあります。平成25年4月を目途に、地域住民の方々に混乱を招くことがないよう適切な事務処理に努めるという説明がありました。

以上、質疑、討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

以上で、付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。



民営化に向けて検討中の老人ホーム

芦北町総合計画前期の成果と後期計画作成へ町民の意見どう反映する!!



川尻議員



後期基本計画

質

二〇〇五年〜二〇一四年までの10年間の「まちづくりの基本理念」・「まちづくりの目標」・「施策の大綱」を定めた芦北町総合計画の前期基本計画が3月で終わる。6つの柱でつくられた前期計画のそれぞれの成果をどうとらえているのか。

答

町長

前期基本計画5年間に、6つの基本目標に定める全ての施策において、着実にその成果を上げたと認識している。

質

また、後期基本計画の最重点施策はなにか。

答 町長

総合計画の基本構想に掲げる6本の全てが最重点施策である。

質

後期基本計画を作成するにあたり町民の意見をどう取り入れたのか。

答 町長

町民意識調査(2000人アンケート)や広報紙、町ホームページで広く町民の意見を募集し、更に町内各界を代表する審議会で原案に対する意見や要望をお聞きし、反映をしている。

漂着ごみ対策の迅速な対応を望む

昨年7月「海岸漂着物処理推進法」が施行され熊本県も対策推進協議会を設置、本町も海岸線をもつ14市町の1町で会員となった。

この協議会の役割を認識しどのような役目を果たして行く考えか。

答 町長

熊本県内海岸環境を守るために本協議会が設置されたと考えており、

県地域住民及び関係機関等と連携・協力して取り組みが必要があると認識している。

質

昨年10月初旬のゲリラ的豪雨で本町の海岸、港へ大量のごみが流れ込んだ。沿岸町民、特に漁業者は苦慮し打つ



海岸漂着ごみ

手もなかった。この推進協議会の迅速な対策と本町としての対応を強力に進める考えはないか。

答 町長

推進協議会の対策を推進するとともに、突発的な漂着ゴミの処理については更に、臨機応変に対応していきたい。

若者の地元定住化に向けて 町の方策は!!



宮尾議員

質

昨今、地方は、若者離れが進み、疲弊している。

それに加え、職種には関係なく未婚者が多く見受けられ、特に男性の方が積極的で無い様に思われる。

若者は、いつの時代も、地方、国の宝であり、地域発展の源である。

そこで、力強く地元の職場で働く男女に、結婚のきっかけ

けとなる機会を与え、後押ししてやることは、行政の責務だと考えるが、新年度より計画はないか。

答 町長

未婚化の問題については、全国的にも今や顕在化した問題として取り上げられており、第一次産業の分野にとどまらず、広く大きな課題として横たわっている。

少子高齢化の時代であり、住民の定住化を図っていくことは、町の活力も高まるということから、本町としてもこの問題に本格的に取り組む。

若者の交流イベント（緑創会）



答

企画財政課長

平成22年度から取り組む結婚支援事業については、町内の独身男性に対して、結婚の機会の提供を行い、定住化促進を目的としている。

内容は、婚活イベントの企画運営、定住アドバイザーへの研修の実施、イベントに参加する男性へのコミュニケーションの研修の実施、イベントに参加した男女への後のフォロー、それからイベントに参加した女性への募集などを委託することとしている。

答 農林水産課長

芦北地方農業振興協議会の中に担い手育成部会があるが、その部会と4Hクラブが連携して、本年も異業種の女性を呼んで、そば打ち体験や甘夏の収穫体験を実施している。



4Hクラブが主体となった異業種交流

平成22年度は、御立岬公園で県内各地の4Hクラブ会員と異業種の女性の方々を招いての交流会を計画している。

湯浦温泉街の活性化について!!



岡部議員

質

長い歴史を持ち泉質にも優れ湯治客などで賑わった温泉街であったが、近時は客足も遠のき寂しさが募るばかりである。そこで現在のヘルシーパークの運営の一環として、隣りの空き地を利用し、家族湯の新設と併せて宿泊施設の設置を強く願っている。

地区では、湯浦活性化協議会が中心となって湯浦全体の再生を真剣に討議を重ねられているが、町長の考えは。

答 町長

問題点として家族湯の場合、現在泉源地よりヘルシーパーク、温泉プール、きずなの里へ供給しているため湯量不足が心配される。また宿泊施設の整備については、設備投資、ランニングコスト、需要動向などの問題があり、他にも御提言をいただいているので、これらに検討を加え、見直しが必要かと思うので時間をいただきたい。

答 商工観光課長

現在、ヘルシーパークの泉源については、一日66トン。そのうち、ヘルシーパークに45トン、温泉プールに9トン、きずなの里に10トンという形で、ほぼ源泉1日分を振り分けている状況である。今後、ボーリングをするとなると設備投資も必要となるので、温泉組合も含め検討したので時間をいただきたい。



ヘルシーパークの整備を

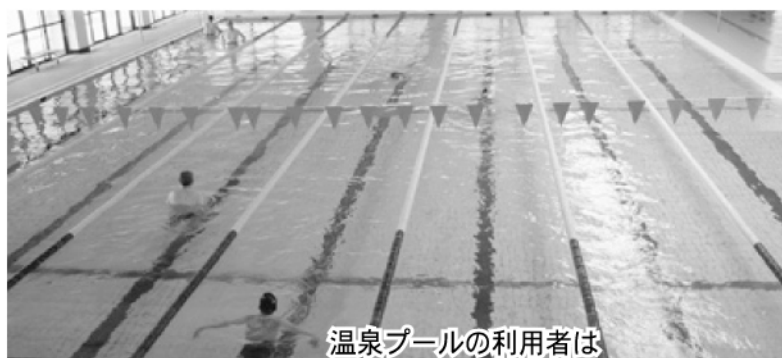
温泉プールの利用について

質

近隣市町村にない稀に見る貴重な良質のプールであるが、現在はスポーツ利用者が大半であると思う。町民の健康維持を保つ有効利用の観点から、広報活動と利用者へのアンケート調査等行ない、利用者増加が叶えば盤石な運営にもつながるものと思うが、所見を伺いたい。

答 教育長

温泉プール運営については、小学生の水泳教室や、女性の方が主に参加されるアクア教室、水中ウォーキング教室など、8種の企画を立て、実行しており、年間延べ人数2万1261名となっている。今後多くの町民の方々に利用いただくために、さらに健康づくりにつながるメニューを考えていきたい。



温泉プールの利用者は

議会のごき

- 2月2日 芦北町振興計画策定審議会
19日 水俣芦北広域行政事務組合
全員協議会
22日 熊本県町村議会議長会第60
回定期総会
23日 議会運営委員会
3月1日 議会定例会（議案審議）
2日 “ （一般質問）
3日 各常任委員会（～5日）
12日 議会定例会（最終日）
18日 水俣芦北広域行政事務組合
議会
26日 水俣芦北地域振興財団理事
会
28日 芦北町議会議員一般選挙
4月5日 議員打合せ会議
7日 議会臨時会（初議会）

山形県山辺町議会が 本町を視察

5月20日に山形県山辺町議会の皆さんが行政視察研修のため訪問され、議会から藤崎副議長、行政から藤崎副町長が対応いたしました。

今回の視察は、「住民主体のまちづくり地域おこし全般について」の研修内容で、企画財政課担当職員が説明し、熱心に質疑応答が行われ、研修後有意義な研修であったことに丁寧なお礼のことがありました。



熱心に研修する山辺町議会

お世話になります

芦北町議会議員の改選により、4月から広報特別委員会も新メンバーになりました。

議会の活動や審議内容を広く町民にお知らせするために、広報紙を発行いたします。



議会広報特別委員

傍聴に来てください。



次回は、6月中旬の予定です。
傍聴は、ルールさえ守っていただければ誰でもできます。

議会広報特別委員会

委員長	副委員長	委員
宮内 道則	平松 洋一	川尻 成美
		宮尾 秀行
		元山 秀志
		林田 耀宏

さて、この芦北町議会広報紙は、「芦北町議会の活動状況並びに町民の町政及び議会活動に関心を高め、町政が発展する事を目的に」年4回、定例会ごとに町内の全世帯に配布して、町民の皆様方に支持される広報紙を目指し、委員一同頑張っておりますので、今後とも町民各位の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（宮内）



編集後記

改選後、新しいメンバーで広報紙の編集に取り組みました。この編集は、あじきた町議会、だより「うたせ」のレイアウトから紙面の分担、編集日程等について協議し、ページ及び記事毎に委員全員でその役割を決め、編集を致しております。